

友愛

vol.118

DECEMBER.2019

特集

食育で子どもたちの
自信も育ちます

特集

若者がワークキャンプで学ぶ
福祉の現場と支え合い

特集

自分の手で無から有を
生むことがうれしい

●ふれあい通信

●スタッフエッセイ





1みんなで種芋と種芋の間隔を木の棒を使って測りながら丁寧に植えました。2子どもたちは率先して畑のお世話をしてくれました。3秋の収穫では、お友だちと楽しく会話しながら芋掘りをしました。大きなお手がたくさん取れて笑顔があふれます。4みんなで作ったカレーは格別！5畑で収穫したミニトマトやキュウリを使ったサラダバイキングを楽しみました。697年少さんはカレー粉を買い、年中さんはデザート作り、年長さんはカレーに使う野菜の皮むき。役割分担をしてカレーを作りました。

育てる 収穫する 料理する 食べる

食育で子どもたちの自信も育ちます

愛保育園では30年以上前から、食育に取り組んできました。園庭の一角には菜園があり、子どもたちは自ら野菜を育てる経験もしています。食育でみんなたくましく育っています。



好き嫌いがなくなり 生きる力の源に

食べ物、私たちの体を作り、活動のエネルギー源になっています。だから、食べることは生きること。食育の重要性はそこにあります。

愛保育園では、0歳児の離乳食から食育を始めています。保育士は「カミカミしようね」などと声を掛けながら、そしゃくを覚えていくようにしています。これは顎の発達にもつながり、成長にとっても大事なことです。

好き嫌いがなくなることも、食育の狙いの一つ。栄養バランスが良くなるとともに、「ぼく、嫌いなニンジンが食べられたよー」など、子どもたちの自信につながります。それが家庭に伝わり、家でも好き嫌いがなくなっていくきます。

自分で育てた野菜は とてもおいしい

食べることはコミュニケーションにもつながります。園で一緒に野菜を育て、調理し、食べるなかで、子どもたち同士はもちろん、子どもたちが

カレーを作りました。メニューのレパートリーを広げ、もつといろいろな体験をさせてあげたいですね」と、力が入ります。

旬の食材や行事食で おいしさと伝統を知る

愛保育園では毎日の食事でも、食育を実践しています。「旬の食材を使うこと、地元の農家さんの野菜を使うことを心掛けています」と、管理栄養士の高橋尚子女士。なぜなら、「食育ではおいしさを知ることが欠かせません。旬はその食材が一番おいしい時。また、地産地消も地域とのつながりを作り、大切だからです」と理由を話してくれました。

高橋さんはお月見や節分、土用の丑の日など、行事ごとの食も大事にし、なぜお月見でお団子を



管理栄養士 高橋 尚子さん



愛保育園 保育士 伊藤 広恵さん

と保育者の会話も弾みます。楽しみながらさまざまな「できること」が増え、子どもたちの成長に寄り添っているのです。

園庭の一角で、農作業指導者の方の協力を仰ぎながら、ピーマン、ミニトマト、ニンジン、ジャガイモなど8種類ほどの野菜を育てています。植え付けから草取り、水やり、収穫と、子どもたちが毎日お世話をしています。0歳児も畑の近くでお世話を見学し、自然に興味をもてるようにしています。

収穫した野菜を子どもたちと一緒に調理して食卓に出すと、苦手なピーマンを食べる子もいます。自分で育てたからこそ、おいしく思えるのですね。

年長さん担任の伊藤広恵さんは「食育によって、育てる、料理する、食べるが全て好きになっていきます」と言います。「今年はまだみんな



愛保育園 園長 原 利明さん

食べるのかなど文化的な背景を説明して、伝統の食の良さや価値を伝えていきます。こうした体験や知識は、子どもたちが成長し、やがて親になった時に、今度は自分の子育てに役に立ちます。

園では、バランスの良い食事を家庭でも作ることで、子どもたちの味覚を薄味に育てることに配慮しています。「園からのおたよりで、お昼ご飯の評判メニューのレシピを家庭にお知らせしています」と話すのは、園長の原利明先生。また、管理栄養士さん、調理員さんが子どもたちと一緒にお昼ご飯を食べる機会を設け、子どもたちの食事の様子を確認しながら、次の献立を工夫できるようにしています。

これからも園のスタッフ全員が、食育を通じて子どもたちと触れ合い、家庭との関わりを深めていきます。



FUREAI TSUSHIN

ふれあい通信

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの日々のふれあいを、あふれる笑顔の写真と一緒にご紹介します。

恵明園

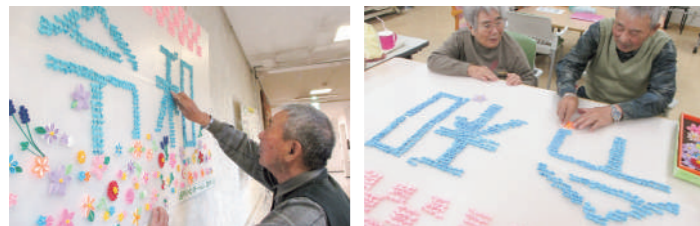


大運動会

今年も紅白に分かれた、恵明園大運動会が行われました。ラジオ体操から始まり、1種目の借り物競争では、紙に書かれた物を、職員と一緒に大声で探し回りゴールを目指しました。次の競技、お菓子取り競争では、ぶら下がっているお菓子を口にくわえ、ゴールを目指しました。気持ちが焦り、なかなか口にくわえることができず、悪戦苦闘していました。結果は、白組の優勝で幕を閉じました。両チームお疲れさまでした。



友愛ナーシングホーム



令和の平和に願いを込めて

今年5月1日新元号開始より、私たちの生活にすっかり馴染んだ「令和」。新元号発表を記念して通所リハビリテーションご利用者の皆さんが、願いを込めて素晴らしい作品を完成させてくれました。文字のパーツは、一つずつ紙テープで作られた小さなハートになっています。新たな令和の時代も平和に過ごせますように☆皆さんの思いがたっぷり詰まった作品になっています。当施設にお越しの際は、ぜひご覧ください!

ケアハウスゆうあい



『ケアハウス 手芸クラブ』

ケアハウスゆうあいでは、手芸が好きな方々が集まり、毎週火曜日に『手芸クラブ』の活動をしています。先生はご利用者さんで、メンバーもご利用者の皆さんをケアハウスに飾らせていただくと、「素敵の部屋に飾りたいから売っていただけな好評!!どれも完成度が高く素晴らしい作品ばかりです。

今年も『和顔愛語フォトコンテスト』が開催されました!

優秀賞



優秀賞 友愛江別 平田 楓果さん

入賞 愛保育園 原 利明さん
静苑ホーム 水上 ことみさん
静苑ホーム 田中 恵さん
友愛ナーシングホーム 丸山 ひとみさん

愛保育園



どきどき☆ハッピーハロウィン♪

愛保育園のみんなが、とても楽しみにしていたハロウィンパーティー♪クラスでポチャに仮装して、楽しいゲーム遊びに大盛り上がり!大きい魔女に勇気を出して「ト」と言うと、なんと魔女からうれしいプレゼントが♡子どもたちにとってはちょっぴりドキドキ♪も含め、楽しいハロウィンの思い出になりましたよ★

昭和が薫る、レトロ縁日!!

「懐かしい!!」をコンセプトにしたレトロ縁日。デイサービスの入り口から昭和の雰囲気を出し出す装飾を施し、まるでタイムスリップしたかのよう。若かりし日を思い出しながら金魚すくい、輪投げ、型抜きなどを楽しみ、子ども時代に戻ったような元気な姿を見せるご利用者の皆さん。ご利用者さん、職員と共に作り上げたこの縁日は、思い返した時にまた一つ楽しい気持ちになるイベントとなりました♪

静苑ホーム





恵明園

恵明園では30年にわたり、陶芸教室を行っています。ご利用者さんを対象とした教室のほか、一般の方も参加できるクラスがあります。皆さんの声を紹介します。

自分の手で無から有を生むことがうれしい

無心でろくろを回す

海老美代子さんは入所した当時から陶芸を始め、今年で17年。「最初は乾燥させたときに、茶碗の底がとれてしまうことが多かったんですよ」と言います。今では傘立てや花入れなど高さ50センチを超える作品も作っています。

「無心でろくろを回し、自分の手で無から有を生むことが喜びです。知り合いに差し上げるなど、人の役に立つことができるのもいいですね」と語ります。居酒屋などに
出掛けた際は、器の形を確かめる習慣も付き、外食の楽しみの一つになったそうです。
松木恵美子さんのキャリアは一年ほど。「もともと興味はあったのですが、きっかけがなくて。入所と同時に始めました」と言います。「まだ湯飲みくらいですが、厚さも形も難しいですね。でも、年数をかけ



海老 美代子さん 松木 恵美子さん

親しまれる「長寿焼」

て、少しずつ大きなものに挑戦したいと思えます」と、すっかり陶芸に魅せられたようでした。

陶芸教室の歴史は、指導者の堀江隆司先生と共に始まり、今も続いています。「目の見えない方は、勘の良い人が多いと知りました」と、始まった当初の印象を教えてくださいました。

「心掛けているのは、無理に作らせようとしないうこと。そして、自分の作品を実際に使ってみることで」と話します。自分で使うことで、「もっと軽くしよう」など、次の作品への意欲もわきます。色付けや焼成は全て堀江先生が、恵明園の設備で行います。

作品は家族会や「えべつやきもの市」などで販売します。「えべつやきもの市には、第一回から連続して参加しています」と堀江先生。「長寿焼」の名前で、多くの人に親しまれている恵明園の陶芸。これからも素敵な作品が誕生していきますね。



若者がワークキャンプで学ぶ

福祉の現場と支え合い

夏と冬に開催しているワークキャンプ。高校生などを対象に、福祉の現場を体験してもらうとともに、「支え合い」の気持ちも学んでいただきます。体験者の中から、北海道友愛福祉会の施設に就職する人もいます。



施設としても
やりがいを感じています

静苑ホーム
相談主任兼介護支援専門員
橋本 抄苗さん

今年の夏のワークキャンプには13人が参加。看護師志望など、幅広い人たちが集まってくれました。参加者の感想文では「人とのつながり、支え合いを学べた」「将来は福祉行政を担って、バリアフリーを進めたい」など、福祉への多彩な声寄せられ、施設としてもやりがいを感じています。福祉について知ってもらえること、心に響く感想などが自分たちのモチベーションにつながっています。これからも参加者を積極的に受け入れたいと思っています。

2年連続で
ワークキャンプに
参加しました



静苑ホーム 介護福祉士
坪 千里さん

私は専門学校生の時に、2年続けてワークキャンプに参加しました。その時、高齢者の疑似体験などでも役に立つ体験ができたので、このホームに就職を希望しました。働き始めのころは、ご利用者の行動に驚くこともありましたが、5年目の今は一人一人に個別のケアをしていくように心掛けています。参加者には、現場で認知症の方への対応方法を少しでも知り、日常生活でも生かしてもらいたいですね。



体験したことで
接し方が
変わりました

恵明園 介護福祉士
藤林 利那さん

私は高校生の時に、恵明園でのワークキャンプに1泊2日で参加。目隠して食事をするなど、見えないうことの不自由さや、つらさを体験して、ご利用者さんが何でも自分でできる姿に驚きました。それ以来、街で目の不自由な方への手助けをするようになるなど、周りの方への接し方が変わりました。恵明園に就職し、今年で3年目になりますが、言葉遣いや介助の仕方など、どうしたら相手によりよく伝わるかを心掛けています。

1泊2日で
昼と夜の
介護を体験



静苑ホーム
中鉢 優里花さん

中学生の時から福祉の仕事がしたかった私は、高校2年生で静苑ホームのワークキャンプに参加。ボランティア部に所属し、学生カフェに来たこともあります。1泊2日を選んだのは、昼と夜のご利用者さんの様子を知りたかったからです。昨年、静苑ホームに就職し、今は介護福祉士を目指して頑張っています。高校生の皆さんにはワークキャンプで介護の現場を体験し、お互いが支え合っているということをぜひ知ってほしいですね。

スタッフエッセイ

～STAFF ESSAY～

令和元年7月、わが家に新しい命が誕生しました。あっという間に日々が過ぎ去り、3カ月がたちましたが、生まれたばかりの頃の写真を振り返ると、成長が一目瞭然！一日一日を大切にしないではいけなくて、改めて感じた瞬間でした。

静苑ホーム 杉村 晃輔



介護職員として働いて2年目になります。介護現場で働いてみて、ご利用者さんの支援をしていくなかでご利用者さんの笑顔を見ることができ、とてもやりがいを感じながら楽しく働くことができています。私は野球が好きで小学校から就職するまで、ずっと野球をやっていました。働いてからも野球がしたいと思い、今は社会人チームに入り野球をすることができて、とても充実しています！

友愛ナーシングホーム 加藤 龍成



一瞬でも仕事を忘れ、日常とは違った時間を過ごせるのが登山の魅力です。自然の厳しさもありますが、雄大さを独り占めできるほどの爽快感があります。雪渓に花畑、テント泊となれば、天気だけで星空や雲海からの御来光が見られるのも楽しみ。ザックには、あれもこれもと荷物が増え、重くて大変、何を減らそうかと、いつも悩んでの山行は大人の遠足です。次の目標は、3～4日くらいの縦走をしたいですね。標高年2019mの緑岳でした。

野幌第一地域包括支援センター
古館 康之



私は犬が1匹、小鳥が5羽、リクガメが3匹、ウサギが1羽、そして人間の女の子1人と暮らしています。世話は大変じゃないの？と、よく聞かれますが、世話をすることも可愛がることと同じくらい好きなことなのです。多くは奇形で売り物にならなかったり、成長し過ぎて売れ残ってしまった子です。そのため短命の子も多く、たくさんの子たちを見送ってきました。過去にはフェレットが3頭、小鳥も10羽と今よりさらに大家族でした。

デイサービス友愛江別 平田 楓果



中学校から始めた卓球。休みの日には友人と体育館に行き、ラリーや試合をして交流を深めています。見るのも好きで特に「世界卓球」はテレビで放送していると必ず見てしまいます。来年は2020東京オリンピック・パラリンピックもあるので、今から選手の活躍がとても楽しみです。

愛保育園 高村 勇也



夏が近くなると、わが家では家族でキャンプに出掛けます。テントやバンガローでの泊まり、タープだけ張つてのDayキャンプも行います。子どもがおこした火でBBQや調理を行い、夜はその火でたき火を楽しみます♥毎日慌ただしく生活していますが、テレビやネットも使わず、家族とたき火を囲みながら流れ星を探す時間を、これからも続けていけたら…と思います☆彡

静苑ホーム
居宅介護支援事業所友愛野幌
田中 早苗



社会福祉法人 北海道友愛福祉会 <http://www.yuaifukushi.net>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
静苑ホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

友愛野幌

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170

- 通所介護 ●訪問介護
- 居宅介護支援・在宅介護支援センター
- 福祉移送サービス

児童福祉施設
愛保育園

〒069-0812 江別市幸町8番地の9
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・
特定施設入居者生活介護・短期入所生活介護
恵明園

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

友愛江別

- 通所介護

江別市受託事業
野幌第一地域包括支援センター

〒069-0801 江別市中央町31番地の6
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941
●介護予防支援

軽費老人ホーム
ケアハウスゆうあい

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護
通所リハビリテーション・居宅介護支援
友愛ナーシングホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

認知症対応型共同生活介護
グループホームゆうあい

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の14
TEL (011) 383-3378 FAX (011) 383-3356